2016年度点検・評価シート

Ⅰ　評価項目・担当部局

対象部局	スポーツ・健康科学研究科
評価基準4	教育内容・方法・成果
中項目　4-4	成果【自己評定A】
点検・評価項目(1)	4-4-1 教育目標に沿った成果が上がっているか。
評価の視点	学生の学習成果を測定するための評価指標の開発とその適用
点検・評価項目(2)	4-4-2 学位授与（卒業・修了認定）は適切に行われているか。
評価の視点	学位授与基準、学位授与手続きの適切性
	学位審査および修了認定の客観性・厳格性を確保する方策

Ⅱ【点検・評価項目ごとの現状説明】

4-4-1	大学院生の学習成果を測定する評価指標としては、一般公開による修士論文発表に加えて、大学院生の所属学会でのプレゼンテーション、国内および国際学会誌に受理された論文数等が指標となり得る。過去5年間の本研究科生の平均学会発表数は、15.6であり、2年生の平均人数11.8を上回っていることから判断すると、2年生がおおむね学会発表を経験し学会発表が定着していると推測できる（B4-4-19）。また、過去5年間に、国内学会誌に3編、国際科学誌に1編、研究論文が受理され、奨励賞を受賞する大学院生も出てくるなど、教育目標に沿った一定の学習成果を上げている。 本研究科は、2011年度から2015年度までの5年間で、57名に修士の学位を授与している（B4-4-29 d2-表12）。
4-4-2	本研究科は、2010年の認証評価において、「学位論文審査基準ならびに学位授与方針が学生に明示されていないので大学院手引きに明示されることが望まれる」という助言がついた。それに対応するため、2013年度に「学位授与方針」および「学位論文審査基準」を制定し、それに基づいて学位授与（修了認定）を適切に行っている。方針と基準は、ガイダンス等であらかじめ学生に周知されている(A4-4-19 p.11～p.12、B4-4-27)。 学位審査および修了認定の客観性・厳格性を確保する方策としては、本研究科では学位論文の審査および最終試験または学力の確認を行うことを目的として、学位授与のための審査委員会を設置している。審査委員会は、学位請求論文に対して主査1名、副査2名で構成する。評価の公平性を確保するために、指導教員が主査に選出されることはない。また、2名の副査のうち1名は、学位論文を提出した領域以外から選出されることになっている。さらに、審査委員会は、修了予定者を対象に、大学院2年生の年度始めに論文構想発表会および大学院2年の年度末に学位論文発表審査会を開催し、すべて一般公開で行われる。このように本研究科における学位授与（卒業・修了認定）は適切に行われている。 本研究科では、2011年に「修士論文指導教員のあり方に関するガイドライン」を作成し、指導教員、主査・副査間の論文作成および査読評価上、齟齬がないよう努めている(B4-4-20)。また、4つの領域それぞれに特別研究A（1年）、B（2年）を配置し、学生と指導教員とが綿密に打ち合わせを行い研究指導、論文作成指導が行われている。必修共通科目「スポーツ・健康科学研究法」では各教員が成績評価を行い、委員長が成績のとりまとめを行っている。

【効果が上がっている事項】

4-4-1	修士課程2年までに殆どの大学院生が所属学会で発表を経験している。
4-4-2	

【改善すべき事項】

4-4-1	殆どの大学院生が指導教員が所属する学会などで研究発表の経験を積んでいるが学習成果を測定する評価制度がないのでその方策を構築すべきである。
4-4-2	

本項目の根拠資料（データ類、裏付けとなる資料）

A4-4-2　　大東文化大学学位規則
A4-4-11　大東文化大学大学院学則　≪既出≫A1-2
A4-4-12　2016(平成28)年度大学院の手引き
A4-4-19　大学院履修要項スポーツ・健康科学研究科　2016
B4-4-19　スポーツ・健康科学研究科大学院生の所属学会発表件数、論文数、受賞等一覧
≪既出≫B4-3-18
B4-4-20　大東文化大学大学院スポーツ・健康科学研究科修士論文指導・指導教員のあり方に関するガイドライン
B4-4-27　2016ガイダンス日程表（学部・研究科）
B4-4-29　大学データ集　≪既出≫B1-22

〔追加資料〕

Ⅲ【達成目標】目標の進捗状況は、「S：完全に達成」　「A：概ね達成」　「B：やや不十分」　「C：不十分」　で、評価する。

達成目標		目標達成の指標となるもの		評価				
				2014	2015	2016	2017	2018
中期目標（2014～2018）	4-4-1 本研究科内の自己点検評価委員会を中心に、学習成果を測定する評価指標を作成する。	研究科委員会議事録、あるいは「スポーツ・健康科学研究科自己点検評価委員会報告書」	→			A		
14 年度目標	4-4-1 本研究科委員会および本研究科内の自己点検評価委員会において、学習成果を測定する評価制度の開発に関する検討を開始する。	研究科委員会議事録、あるいは「スポーツ・健康科学研究科自己点検評価委員会報告書」	→	B				
15 年度目標	4-4-1 本研究科委員会および本研究科内の自己点検評価委員会において、指導教員が所属する学会などで課題研究に関する発表や受賞など、学習成果を測定する評価制度の開発に関する検討を開始する。	研究科委員会議事録、あるいは「スポーツ・健康科学研究科自己点検評価委員会報告書」			B			
16 年度目標	4-4-1 本研究科委員会および本研究科内の自己点検評価委員会において、指導教員が所属する学会などで課題研究に関する発表を経験させるなど、学習成果を測定する評価制度を開始する。	研究科委員会議事録、あるいは「スポーツ・健康科学研究科自己点検評価委員会報告書」				A		